

**10/31(火)～11/2(木)の行事**

報道発表資料の配付日時 10月17日(火) 9時 00分

発表項目 (行事名)	平成29年度 札幌医科大学医学部第3学年「医学概論・医療総論3」 地域滞在実習の実施について
概要	<p>本学では、地域医療における医師の役割と専門職連携の重要性を理解することを通じ、地域に暮らす住民への関心を強めることを目的に、「医学概論・医療総論3」地域滞在実習を実施いたします。</p> <p>実習期間： 平成29年10月31日(火)～11月2日(木)</p> <p>実習施設： 道南エリア (函館協会病院、函館市立恵山病院、函館市立南茅部病院)</p> <p>日高エリア (むかわ町鶴川厚生病院、日高町立門別国保病院、 新ひだか町立静内病院、新ひだか町立三石国保病院、浦河赤十字病院)</p> <p>空知エリア (赤平市立病院、市立芦別病院、市立美唄病院、市立三笠総合病院、 栗山赤十字病院、町立長沼病院)</p> <p>十勝エリア (清水赤十字病院、鹿追町国保病院、本別町国保病院、足寄町国保病院)</p> <p>○実習病院の地域での役割や福祉施設と病院との連携を学ぶプログラムになっており、学生による「健康教育セミナー」の開催も盛り込んでいます。</p>
報道(取材) に当たって のお願い	<p>○実習先での撮影にあたっては、患者個人が特定されないよう、ご配慮ご留意くださいますようお願いいたします。</p> <p>○各実習の詳細については、担当教員に照会してください。</p>
本件に関する 問い合わせ先	<p>担当教員：札幌医科大学 医療人育成センター教育開発研究部門 講師 杉村 政樹 TEL 011-611-2111 (内線23720)</p> <p>担当事務：札幌医科大学 事務局学務課医学部教務係 佐々木 素子 TEL 011-611-2111 (内線23440)</p>

# 「医学概論・医療総論3」地域滞在実習

## 1. 目的

本実習は医学部3学年学生を対象にした実習のため、単に医師の仕事を学ぶことに焦点を当てるのではなく、専門職連携の重要性を理解することを通じて、地域医療を理解し、地域に暮らす住民への関心を強めることを到達目標としている。

学生は、第1学年の地域医療合同セミナー1、医学概論・医療総論1、第2学年の地域医療合同セミナー2、医学概論・医療総論2、第3学年前期の地域医療合同セミナー3において継続的な多職種連携教育（積み上げ式）を準備教育として受けており、準備教育と本実習での経験により、上級学年（5・6年）で行われる地域滞在診療参加型臨床実習へスムーズに入れることを期待するものである。

## 2. 学習内容

- ・医療施設（地域の病院）では、医師の仕事を理解することを目的に実習を行う。
- ・コ・メディカルの仕事、および、チーム医療（多職種連携と協働）を理解する。
- ・病院と連携する福祉施設（老健、特養老人ホーム等）で、入所者の生活や介護等の職員の仕事を理解する。また、医療と福祉の連携、専門職連携を理解する。
- ・学生が企画、準備し、一次予防の実践を行う。また、教員や現地医療スタッフの協力を得て小学校、中学校、高校、地域の自治会等で「健康教育セミナー」を実施する。

## 3. 対象学生

医学部第3学年92名（18グループに分かれて実施）

## 4. 実習実施日

平成29年10月31日（火）～11月2日（木）3日間

## 5. 基本的な実習プログラム（実習病院により、訪問する施設や実施内容が異なる）

10/31（火）	11/1（水）	11/2（木）
午前： 実習地へ移動	午前： ・外来患者へのインタビュー ・連携する福祉施設と病院の役割についての説明	午前： ・病院と連携を持つ福祉施設（老健等）で、医療・福祉連携について説明、質疑応答 ・入所者とのコミュニケーション
午後： ・病院の地域での役割等の概要説明 ・医師やコ・メディカルスタッフに付いて病院での仕事を見学等	午後： ・院内にて、学生による健康教育セミナー ・翌日実習で行く施設を訪問し、挨拶、実習内容確認	午後： 大学へ移動

## 6. 実習病院（計18病院）

道南エリア：函館協会病院、函館市立恵山病院、函館市立南茅部病院

日高エリア：むかわ町鶴川厚生病院、日高町立門別国保病院、新ひだか町立静内病院、新ひだか町立三石国保病院、浦河赤十字病院

空知エリア：赤平市立病院、市立芦別病院、市立美唄病院、市立三笠総合病院、栗山赤十字病院、町立長沼病院

十勝エリア：清水赤十字病院、鹿追町国保病院、本別町国保病院、足寄町国保病院